

2022 神戸大学附属中等教育学校



ご挨拶



平成21(2009)年度、神戸大学の附属学校大規模再編計画に基づき、本校は設立されました。 附属住吉中学校と附属明石中学校を改組、6年一貫教育を推進する新たな学校、「中等教育学 校」に生まれ変わりました。

「先端研究・文理融合研究で輝く卓越研究大学」を目指す神戸大学の附属学校として、大学と連携した教育活動を行います。各研究科教員が行う講義「神戸大学day」の実施、課題研究(卒業研究)を進める際の大学研究室の支援、研究室インターンシップの実施、図書館やICT環境も含めた神戸大学施設の利用、課外活動への大学生の支援など、いろいろな場面で神戸大

学と連携しています。

「自治・協同・創造」の校訓のもと、「主体的に自己及び社会の未来を切り拓くことのできる生徒」、「国際的な視野を持ち、自他を認め合って行動できる生徒」、「真理探究の精神に富み、新たな価値を創造する力を身につけた生徒」を育てていきます。教科・科目の学習、その他の教育活動を通じて、「見つける力」「調べる力」「まとめる力」「発表する力」の4つの力とそれらを総合する「考える力」を身につける教育活動を行います。生徒ひとりひとり、学びの課題を設定し、克服していく、主体的な学びを続けています。

文部科学省より、平成25(2013)年度から令和3(2021)年度まで「地理総合」・「歴史総合」の研究開発学校に指定されていました。平成27(2015)から令和元(2019)年度までスーパーグローバルハイスクール(SGH)に指定されていました。令和2(2020)年度から令和6(2024)年度までスーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定されています。222校が参加した令和2(2020)年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会では、最優秀校に与えられる文部科学大臣賞を初出場で受賞しました。令和3(2021)年度には国際統計ポスターコンペティションにおいて本校の4年生(応募時3年生)が世界1位を獲得しました。また、平成26(2014)年度にはユネスコスクールとして認定されています。日本全体の教育政策に影響を与える研究開発を進める学校です。

神戸大学附属中等教育学校での6年間の学びを通じて、国際的視野を持ち未来を切り拓く、真理探究の精神に富んだグローバルキャリア人に成長していきましょう。

校訓・教育目標

		自治		主体的に自己及び社会の未	来を切り拓	iくことのできる:	生徒		
目指す生徒像			丁生徒像	協同	国際的な視野を持ち,自他を認め合って行動できる生徒				
1				創造	真理探究の精神に富み,新たな価値を創造する力を身につけた生徒				
			教科教 生涯、協同的に 文理を超越した	学べる力	教科と 探究の 融合	課題研究(KP) 新たな価値を創造するカリサーチ・リテラシーの育成	理論と実践の融合	自治活動・ 自他の思いを 生徒の自治を尊	実現する力
多月上	光暖期	, -発 - 展	希望する進		探究を 用いた 進路実現	課題研究・卒業研究◆ 4学年の協同ゼミ 1人1テーマ	異学年混合での議論	Future Innovator Training	→ 学校行事生徒主体の企画・運営
5年 5年		· 高校内:	人文社会 類型 専門的内容 類型	選択	探究テーマの	生徒自身が自由に設定	探究成果の発表	学会発表 海外研修·交流	克原祭
ジラ甘	宅実 明年	容	文·理·実技の 教養主義的 カリキュラム 協同学習		ヒント協同的な	論文執筆 ポスター発表	探究 テーマの ヒント	体験的実習	体育祭
	年 年		小集団学習 ・探究的学び ・中・高校内容の ・ 有機的つなが		対話によるゼミ	課題研究IV 6年 課題研究の総まとの (卒業研究II) 5年 説得力の高い研究 (卒業研究II 4年 論文の構成を会得 課題研究II 3年 論文の構成を会得	探究 成果を 実践	POST-ALIEN	音楽祭
	基 楚明年年		有機的つなか 学校設定科目は 領域協働的な 環境 ESD 経済	こよる 数養 計 データ ^{数学} サイエンス	探究力を用いた学習	課題研究入門 探究の型の確立 神戸について学ぶ	探究力を用いた活動	プロジェクト活動 ASTA	生徒会活動
			11年7月 以7日	社会		プログログログログログ 学問への興味・学習意欲の向上		一科学を楽しむ	

スーパーサイエンスハイスクール (SSH)

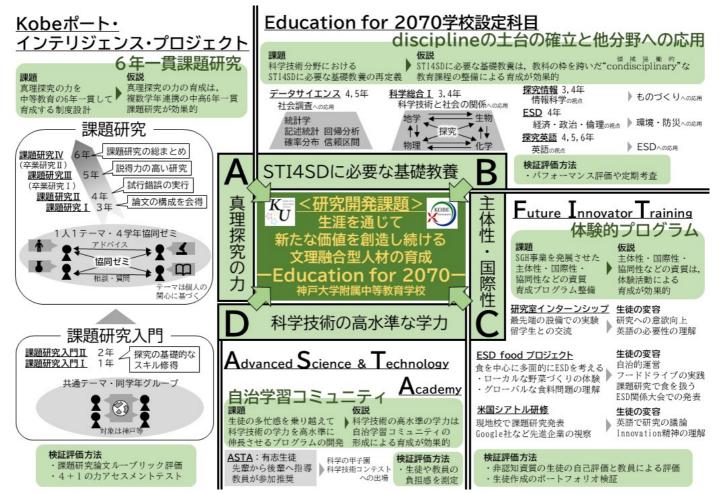
本校は令和 2 (2020)から令和 6 (2024)年度までスーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定されています。本校教育に「サイエンス」という新たな軸が加わることとなりました。

「生涯を通じて新たな価値を創造し続ける文理融合型人材の育成一Education for 2070一」を研究開発課題として、育成を目指す生徒像を「生涯を通じて新たな価値を創造し続ける文理融合型人材」と位置づけています。50年後に向けた社会の創り手となる、「持続可能な開発のための科学技術イノベーション(Science, technology and innovation for sustainable development, STI4SD)」を担う人材を育成するカリキュラムを、SSH事業を通じて教育活動全体で取り組んでいきます。

• 研究開発の単位

- A. 「Kobe ポート・インテリジェンス・プロジェクト(KP)」 総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間において、1年および2年は小集団単位で探究に係る力の基礎を培う「課題研究入門」を、3年から6年は個人研究を異学年協同ゼミで行う「課題研究」を履修させる。
- B. 「Education for 2070 学校設定科目」 領域協働的な科目、またそれを補完する高度な理数教育を行う科目を設置する。
- C. 「Future Innovator Training(FIT)」
 交流校訪問等の海外研修やジオパーク&エコパーク研修など、豊富な体験プログラムを準備する。
- D. 「Advanced Science and Technology Academy (ASTA)」 国際科学技術コンテスト等に向けた、理数に係る高度な学習を行う生徒の自治的コミュニティを設置する。

SSHの概略



Kobe ポート・インテリジェンス・プロジェクト (KP)

全学年の「総合的な学習の時間」および「総合的な探究の時間」で探究活動を実施しています。

1年および2年は、同一学年でのグループ探究によりゼミナールの参加に要求される探究技能の育成を図っています。3年から6年は、4学年の生徒を分野ごとに縦割りにしたゼミナールを編成し、生徒個々の関心に沿ったテーマを選択して個人単位での課題研究に取り組みます。

6年間を通して「見つける力」「調べる力」「まとめる力」「発表する力」に加えて、これら4つの力を統合する「考える力」の「4+1の力」を育成します。

6年間一貫したリサーチリテラシーの育成

課題研究(卒業研究)

自身の興味・関心に従って探究手法を自分自身で考えて、一人 ひとりがポスターと論文を作成する。

ゼミナール形式で生徒の縦のつながりで主体的に授業が進行していく。

6年生

5 年生

4年生

3年生



異学年合同協同ゼミ



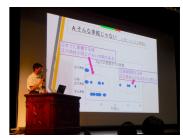
SSラボ・探究ラボ



口頭発表会



ポスター発表会



卒業研究優秀者発表会



生徒の研究ポスター

課題研究入門

身近な地域について体験的な小集団学習をベースとしてリサーチリテラシーの基礎を学ぶ。

2年生

1 年生



成果発表会



異文化理解フィールドワーク



神戸フィールドワーク



小集団学習

教科の取り組み

• 社会科(地理歴史科)

地理歴史科では、平成25年度から令和3年度まで文部科学省から研究開発学校の 指定を受け、「地理総合」「歴史総合」を設置し、その学習内容と学習活動、学習 評価について研究開発を行っていました。その成果が、令和4年度から実施された 新学習指導要領に活かされています。

グローバルな時空間認識を通して、知識・技能だけでなく、思考力・判断力・表現力等や主体的に学びに向かう態度などの資質・能力が備わった人材(グローバル人材)となるために必要な学習を進めます。



• 国語科

国語科では、附属中学時代より30年以上総合単元学習を授業に取り入れ、実践してきました。総合単元学習とは、生徒自身の身近な問題や疑問から学習課題を設定し、学習課題に対して「読むこと」「書くこと」「話すこと・聞くこと」をバランスよく展開し、総合的な言葉の力を獲得すると共に心の育成を図る学習法のことです。本校では「見ること」も意識し、生徒自身が興味・関心を抱く教科書以外の文章や情報メディア、図表・写真等の非連続テキスト等を積極的に学習材に取り入れています。



• 英語科

平成28年度から授業力の向上、そして教科目標と育てたい生徒像の共有を目的として毎年11月末に授業勉強会を実施しています。前期・後期課程の両方の授業公開と研究協議を行い、指導助言および議論をする場を設けています。参会者として近隣の英語科の先生方や遠方からも参加いただき、ディスカッショントピックによる問題提起により、協議会では日々の授業で悩んでいることなどを学校・校種に関係なくお互いに共有する場になっています。



部活動

運動部

サッカー部 卓球部 バスケットボール部 バレーボール部 陸上競技部 テニス部

文化部

科学研究部 コーラス部 吹奏楽部 美術部 家庭科研究部 演劇部 ESS部 PC部 文芸同好会 アンサンブル同好会

教育課程

課程		前期課程				後期	課程		
時期区分	基础	楚期		充実期			発展	 関	
学年	1年	2年	3年	4年(1	1回生)	5年(1	0回生)	6年(9回生)
教科	(14回生)	(13回生)	(12回生)	必履修	選択履修	必履修	選択履修	必履修	選択履修
国語	国語 140	国語 140	国語 1単位分移行 140 (言語文化)	現代の国語 2 言語文化 2		現代文B 2 古典B 2	選択③ 探究国語 1	現代文B 2 古典B 2	選択⑦ 探究国語 2
社会	社会 105	社会 140	社会 1単位分移行 140 (公共)	地理総合 2 歴史総合 2 <i>ESD</i> 7			選択④ 世界史B 3 日本史B 3 地理B 3		選択® 3 世界史B 3 日本史B 3 地理B 3
数学	中等数学 140	中等数学 II 140	中等数学III 1 単位分移行 140 (基幹数学)						
理科	科学総合 140	科学総合 140	科学総合 2単位分移行 175 (科学総合/)	科学総合 1 4			選択⑤		選択⑦
芸術	音楽 50 美術 50		音楽 35 美術 35		選択① 音楽 2 美術				
保健体育	保健体育 105	保健体育 105	保健体育 105	体育 2 保健 1		体育 2 保健 1		体育 3	
技術·家庭 情報	探究情報 70 家庭	探究情報 家庭	探究情報・家庭 2 単位分移行 (<i>探究情報</i>) 70 (家庭基礎)	架兜情報 1		家庭基礎 1			
外国語	英語 140	英語 140	英語 140	探究英語 / 3 論理·表現 2		東京英書∥ 4 英語表現∥ 2		景究英語Ⅲ 4 英語表現Ⅱ 2	
理数				基幹数学 4 DS I 1		理数数学 3	選択③ 理数数学 1 選択④ 理数化学 3 選択⑤ 理数物理 2 理数生物 2	理数数学 4	選択⑦ 理数物理 4 理数生物 4 選択⑧ 理数化学 3
道徳 総合的な学習 探究の時間 特別活動	道徳 35 KP 75 (課題研究入門)	LHR 35			選択② 高大連携 (1) 2	KP 2 (課題研究Ⅲ) LHR 1	選択⑥ 高大連携 (1) 2	LHR 1	選択⑨ 高大連携 (7)
合計	1085	1120	1120		33)		3)		2)

- ☆ 前期課程は「時間数」、後期課程は「単位数」で表示
- ☆ **太字・斜体**は学校設定科目。**淳字**はSSHによる特例措置
- ☆「KP」は本校における「総合的な学習の時間」・「総合的な探究の時間」の名称「Kobeポート・インテリジェンス・プロジェクト」の略
- ☆「DS」は「Data Science」の略称 ☆ 「**高大連携**」は大学での履修内容を含む
- ☆ 太字は、後期課程の科目内容の一部を、前期課程に移行し履修する教科。カッコ内は移行対象科目
- ☆ 4年時の選択
 - 選択① 「音楽丨」又は「美術丨」を選択
 - 選択② 希望者のみ選択。「高大連携」は大学が開講する科目を履修することを含む
- ☆ 5・6年時は、「人文・社会科学」又は「自然・生命科学」類型に所属
- ☆ 5年時の選択 所属する類型並びに地歴及び理科又は理数に関する選択は、原則として6年時も継続
 - 選択③ 人文・社会科学類型は「探究国語」を選択 自然・生命科学類型は「理数数学 || 」を選択
 - 選択④ 人文・社会科学類型は地歴2科目を選択 自然・生命科学類型は地歴1科目と「理数化学」を選択
 - 選択⑤ 人文・社会科学類型は「科学総合//」を選択 自然・生命科学類型は「理数物理」又は「理数生物」を選択
 - 選択⑥ 希望者のみ選択。「*高大連携*」は大学が開講する科目を履修することを含む
- ☆ 6年時の選択 所属する類型並びに地歴及び理科又は理数に関する選択は,原則として5年時の選択を継続
 - 選択⑦ 人文・社会科学類型は「探究国語」及び「科学総合川」を選択 自然・生命科学類型は「理数物理」又は「理数生物」を選択
 - 選択⑧ 人文・社会科学類型は地歴2科目を選択 自然・生命科学類型は地歴1科目と「理数化学」を選択
- 選択⑨ 希望者のみ選択。「高大連携」は大学が開講する科目を履修することを含む

年間行事

4月	入学式 着任式 春学期始業式 新入生歓迎会 部活動入部 課題研究合同発表会 生徒総会
5月	兎原祭(文化祭) 神戸大学day
6月	春学期中間考査 教育実習 オープンスクール
7月	卒業研究最終報告会 卒業研究優秀者発表会 三者懇談
8月	各種FITプログラム
9月	春学期期末考査 春学期終業式

10月	探究週間 研修旅行(3年) 修学旅行(5年) 秋学期始業式 体育祭 教育実習
11月	合唱コンクール 音楽祭
12月	秋学期中間考査
1月	一般適性検査 連携適性検査
2月	公開授業研究会 SSH報告会 6年生を送る会 生徒会選挙
3月	卒業式学年末考査生徒総会修了式離任式

校時表•生徒在籍数

	(予鈴 08:35)
1 校時	08 : 40 ~ 09 : 30
2 校時	09 : 40 ~ 10 : 30
3校時	10 : 40 ~ 11 : 30
4校時	11:40 ~ 12:30
昼休み	12:30 ~ 13:10
	(予鈴 13:05)
5 校時	13:10 ~ 14:00
6 校時	14:10 ~ 15:00
SHR(月・水・金)	15:10 ~ 15:20
清掃(月・水・金)	15 : 20 ~ 15 : 30
7 校時(火・木)	15:10 ~ 16:00
SHR(火・木)	16:10 ~ 16:20
清掃(火・木)	16 : 20 ~ 16 : 30
最終下校時刻	18 : 00 17 : 00(火のみ)

学年	男子(帰国)	女子 (帰国)	計(帰国)
1年	62 (1)	59 (2)	121 (3)
2年	61 (1)	64 (2)	125 (3)
3年	60 (1)	60 (0)	120 (1)
4年	62 (1)	58 (0)	120 (1)
5年	57 (4)	53 (7)	110 (11)
6年	54 (8)	71 (2)	125 (10)
前期課程	183 (3)	183 (4)	366 (7)
後期課程	173 (13)	182 (9)	355 (22)
全体	356 (16)	365 (13)	721 (29)

卒業生より



西川 諒さん 東京大学教養学部文科 || 類

この学校は自分が挑戦したいと思ったことに、とことん挑戦できる環境が整っている学校だと思います。行事は生徒が主体となり作り上げ、普段の学校生活でも変えたいと思ったことは、意見を出せば自分たちで変えていくことができます。またこの学校での学びは教科ごとの従来の勉強や受験勉強の枠にとらわれたものではなく、視野を広げる機会をたくさん提供してくれるものでした。特にKPでは私は、自分が好きだった「お笑い」と関心があった「言語教育」をテーマに英語落語について研究し、学術研究の基礎を学ぶと同時に自分の好きなテーマについて追究することの面白さを知りました。共に多くの時間を過ごした同級生や先生方はいつも私にはない発想や刺激を与えてくださり、また一生懸命になれるものに夢中取り組むことや自分の興味に従って勉強することを後押ししてくれました。私はそのような環境の中で6年間のびのびと自分が思うままに充実した中等生活を送ることができました。



鷲野 諒子さん 京都大学文学部

時々、自分はなぜこんなにも文学というジャンルに魅力を感じるのだろう、と考えることがあります。なぜなのでしょうか。いまだに答えが出ていない問いの一つです。他にも、ずっと考え続けている問いがいくつかあります。本校での学びは、こうした問いから始まり、問いに帰結していました。普段の授業やKPなどの活動を通し、様々な問いを投げかけられたり、あるいは自発的に見つけていったりする中で、世の中にはイエスかノーかで答えられる問いは少ないこと、本当はもっと複雑で、そもそも自分の納得のいく答えなど、どれほど考えてみても出ないのかもしれないということを知りました。それでも、問いについて考えるのに費やした時間を無駄だと切り捨てるには至らないのです。あれは、確かに私の一部になっているという確信があるからです。こうした経験を、自分と自分の外側にある世界を健全に懐疑していく機会を、本校は提供してくれることと思います。



木下 景文さん 神戸大学法学部

私は、本校の探究課題や校内外で行われた研修に参加して学びを積み上げたことで神戸大学法学部に進学することができました。3年時の課題研究でEUの移民問題を取り上げたことがきっかけでEU東京研修に参加したいと思い、外務省やポーランド大使館でプレゼンする機会を得ました。4年時にはさらに視野を広げたいと感じ高校模擬国連大会に参加しました。大会では死刑廃止に積極的なノルウェー代表として立場の違いを踏まえた外交交渉を体験し、国際問題や外交への関心が深まりました。本校では、大学と連携して開催される時事問題の講演会や、大学研究室のインターンシップなどに参加する機会を数多く得られます。神戸大学の大学院生から研究内容に助言をいただける機会もあります。それらを通して、卒業研究を深めていく方針や、大学入学後の学びがどのようになるかのイメージが明確になり、大学卒業後の進路も考えることができました。教科の枠を超えた学習に思う存分チャレンジできる本校で、皆さんも将来の目標を見つけてみませんか。

卒業生進路状況・主な合格先 ※合格者数は総数、()内の数はそのうちの過年度生の合格者数

	8回生進学先		
	男	女	計
国公立大学	24	35	59
海外の大学	0	0	0
私立大学	6	13	19
短期大学	0	1	1
各種·専門学校	0	0	0
公務員	0	0	0
進学準備	20	9	29
卒業者数	50	58	108

大学名	合格	大学名	合格	
神戸大学	14(5)	京都工芸繊維大学	1(1)	
北海道大学	1(1)	大阪大学	11(2)	
東北大学	1 (0)	大阪教育大学	2(0)	
筑波大学	2(0)	鳥取大学	1 (0)	
群馬大学	1(1)	島根大学	1 (0)	
千葉大学(飛び入学)	1 (0)	岡山大学	1 (0)	
東京海洋大学	1 (0)	広島大学	3(2)	
東京大学	5(0)	愛媛大学	3(1)	
東京藝術大学	1(1)	高知大学	1 (0)	
一橋大学	1 (0)	九州大学	1 (0)	
横浜国立大学	2(1)	宮崎大学	1 (0)	
新潟大学	1 (0)	鹿児島大学	1(1)	
信州大学	1 (0)	琉球大学	1 (0)	
滋賀大学	1(1)	大阪公立大学	6(2)	
京都大学	13(2)	兵庫県立大学	5(2)	
W > 1.E. W + 1.E. W + 1.E. C. V				

大学名	合格
関西学院大学	39(12)
関西大学	21(11)
同志社大学	31(17)
立命館大学	22(11)
関関同立計	113(51)

大学名	合格
早稲田大学	7(2)
慶應義塾大学	2(2)
早慶計	9(4)

※ うち医学部医学科(国公立)は5(1)

アクセス

阪急御影駅 神戸市バス19・39系統 15分 JR住吉駅 神戸市バス39系統 20分 神大附属前下車

〒658-0063 神戸市住吉山手5丁目11番1号 TEL (078) 811-0232 FAX (078) 851-9354

